

障がい理解啓発事業

令和7年度
おおた みんなのつどいプロジェクト
事業報告書



はねぴよん © 大田区



令和7年度のおおた みんなのつどいプロジェクトは、4月下旬に障がいのある人もない人も笑顔になる、障がい理解を取り入れた実践的な地域活動の募集をスタートしました。

7月からは、各障がい者福祉施設のおまつりや、OTAふれあいフェスタなどにおいて障がい理解の啓発活動やそれぞれの会場を巡るスタンプラリーを実施しました。

12月6日には、大田区民プラザにおいて総括イベントを開催しました。

こうした取組みを積み重ね、地域共生社会の実現を目指してまいります。

おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会

おおた みんなのつどい プロジェクト総括イベント

～障がいのある人もない人も 笑顔あふれる社会へ～

日時 令和7年12月6日(土) 13:30～15:45 **会場** 大田区民プラザ 小ホール・展示室
参加費 どなたでもご参加できます 無料(事前申込み不要)

総括イベント スケジュール **手話通訳あり・要約筆記あり**

I部 区長表彰式 おおた みんなのつどい プロジェクト表彰式	II部 デフアスリート 伊東勇哉選手の講演会 よしもと手話ブ!&大根ちゃまによる ステージイベント
------------------------------------------	----------------------------------------------------------------

イベントゲスト紹介



伊東 勇哉選手
(いとう ゆうや)

プロフィール
デフバドミントン
大田区内在住
【所属】全日本空輸株式会社

中学からバドミントンを始め、高校、大学、社会人と続け、現在は15年目。「両耳全ろう」という重い障害があるが、フルタイムですべての社員が活躍できる職場づくりを推進する部署の仕事しながら、時間外の時間を使い練習やトレーニングに取り組んでいます。ブラジル2021デフリンピック(2022開催)では、混合団体戦で銀メダルを獲得しました!



よしもと手話ブ!

プロフィール
手話ができる・手話に興味がある吉本芸人が集まって、ろう者も聴者も同時に笑えるお笑いライブを定期的に開催中!デフリンピックを盛り上げるイベントにも参加しています。



大根ちゃま

プロフィール
7月13日生まれの大田区非公認ご当地キャラクター
障がい者施設でのボランティア活動が評価され、令和5年度のおおた みんなのつどいプロジェクト表彰を受賞!



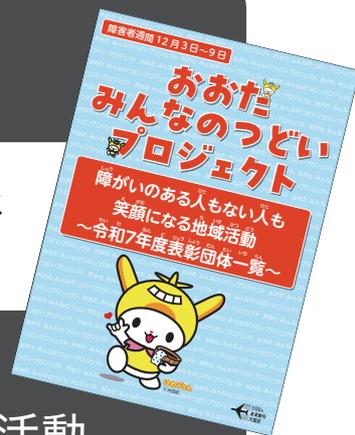
会場 **大田区民プラザ**
〒146-0092 東京都大田区下丸子 3-1-3
東急多摩川線「下丸子駅」駅前 /
東急池上線「千鳥町駅」から徒歩7分
※駐車場はありませんので、車でお越しの場合は周辺の有料駐車場をご利用ください。

主催 おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会 事務局 大田区役所 |
問合せ ☎:03-5744-1251 📠:03-5744-1555 ✉:shoufuku@city

総括イベント
日時:令和7年12月6日(土)
場所:大田区民プラザ

1 おおた みんなのつどいプロジェクト表彰

障がいのある人もない人も笑顔になる地域活動を募集し、表彰するとともに冊子などで区民の皆さんにその活動を周知しました。



2 施設まつり 及び OTAふれあいフェスタでの障がい理解啓発活動

1 事業内容

- (1) おおた みんなのつどいプロジェクトののぼり旗を設置し、障がい理解につながる資料を入れた特製トートバッグを配布し、啓発活動を行いました。
- (2) 障がいがある人もない人も、誰もがいきいきとした人生を送ることができる共生社会の実現に向けて、「障がい理解の輪」から「笑顔の輪」に広がるようなエピソードを募集しました。
- (3) 施設まつりを巡るスタンプラリーを実施し、多くの方にご参加いただきました。 特製トートバッグ



2 実施施設等

月日	施設名等	行事名
7月6日	大森東福祉園	第41回 大森東福祉園まつり
8月1日	いずみえん	令和7年度 納涼祭
8月17日	うめのき園	第11回 福祉のまち糀谷 夏のおまつり ・第30回 いきいき祭り ・第23回 ふれあいまつり ・サンタフェスタ2025
	しいのき園	
	アミークス東糀谷	
9月27日	まごめ園	第32回 まごめ幸陽祭
10月4日	久が原福祉園	第33回 きらら祭
10月5日	大田福祉作業所	第51回 ふれあい祭り
10月12日	南六郷福祉園	第38回 鈴まつり
	くすのき園	
10月26日	上池台障害者福祉会館	第43回 虹まつり
11月1、2日	OTAふれあいフェスタ(大田区社会福祉協議会ブース)	OTAふれあいフェスタ
11月3日	障がい者総合サポートセンター	新井宿地区 福祉と文化と医療のまちのスペシャルデー
11月8日	のぞみ園	第25回 いつつのわ幸陽祭
11月9日	こども発達センターわかばの家	わかばの家こども祭り
11月15日	さわやかワークセンター	第15回 蓮沼ふれあい祭内
11月22日	池上福祉園	第23回 いけいけハートフルフェスタ

3 応募いただいたエピソードの紹介



© 大田区



先日、電車の中で、私の身体につかまって、じっと立っているダウン症の息子を見て、外国人の男性が、席をゆずってくれました。56才になっても、小さくて、言葉の出ない息子は、にっこりと、やさしく、ほほえんでくれたその外国人男性と、目と目があってから、自分のバックの中に大切に入れてあったのだあめを出して、両手で差し出しお礼の気持ちを伝えようと思いました。最初は「いらない!!」という様子だった外国人に、私は、にっこりとほほえみながら、息子の胸と私ののどを指して頭を下げたところ、彼は急に嬉しそうになって小さなのだあめを両手で大事そうに受け取ってくれました。数人の外国人もにっこり、スマホを見ていた車内の人も、にっこりと見守り「にっこのほほえみの輪」が広がって私もうれしくなりました。(Rさん)



私の祖父は車椅子かつ視覚障害者で生活をしています。家族で食事をするのに外食をした時、その日のランチメニューに「ハンバーグ」がありました。これを一緒に注文をすると、祖父にはお皿に盛り付けられたハンバーグが提供されました。器を触るであろう視覚障害者のために区別していただけましたことと思います。日本人のささいな心遣いがすごいなと感動しました。(Sさん)



障がい者施設のエアロビクスやヨガに参加させていただいたり、障害者さんとダンスにも参加させていただいています。先生の代わりに時間に正確なお兄ちゃんが「あと2分で始まる時間です」とか「もう先生は10分間エピソードを喋ってます。早く初めましょう」などと言うので、思わずニコツとしてしまいます。先日もフリービクスをやっていたら、「靴下に穴があいています。」と指を指されたので【どこどこ?】と見てみたら本当に穴が開いて爆笑してしまいました。フリービクスをしながらよく色々なところ見てるなあ〜と、今でも思い出して笑っています。お姉ちゃん達とぼったりあっても、ハイタッチしてくれたり、「こんにちわ〜」と言うと、すごい笑顔で「こんにちわ〜」と挨拶シャワーをもらっています。みんなそれぞれ仲良しで、良いお子さんばかりで大好きです。(Hさん)



視覚障害者さんのガイドヘルパーをしています。
二人で電車に乗ったとき、優先席は空いておりませんでした。
しかし白杖を見た人が席を譲ってくださり、その横に座っていた人も私のぶんの席を譲ってくれました。お礼を言ったうえでガイドの私だけは座りませんでした。なんだか嬉しい気持ちになり、疲れも吹き飛びました。(Yさん)

応募いただきありがとうございます
ございましたぴょん!



© 大田区



白杖歩行をしているとき、信号がわかりません。近くにいた小学生が、「ここは信号機です。赤です。青になったら、一緒に渡りましょう。」と言ってくれて、安全に目的地に行けました。(Kさん)



かぞく4人でイベントにあそびに行った時、車いすの母といっしょでした。段さに少しこまっていたら、外国人の方が2人見ている手伝ってくれました。笑顔になり私の父が「センキューベリーマッチ」とあいさつをしていました。「Hey!!」と手を上げてくれてごあいさつ。心があたたまった出来事でした。(Fさん)



障害者福祉施設のボランティアに参加した際に足元が不自由な人がいました。その時に「段差などに気をつけて」と注意しながら、時々コミュニケーションを取り交流をしました。私自身もこのようなボランティアは初めてだったが、周りの施設の職員の方のサポートを受けながら、うまくサポートすることが出来ました。このような経験から日頃から周りに目を配り、困っている人がいたら積極的にサポートしていきたいと感じました。(Kさん)



小学校のとき、盲目の友達がありました。ふだんは支援学校に通っていましたが、行事のときには一緒に参加することがありました。そして卒業式では、同級生が校長先生に訴えたことで、なんと特別に私たちと一緒に卒業することになったのです。その子はいつも目を閉じていましたが、卒業の日もずっとにこにこ微笑んでいて、その姿は今でも心に残っています。(Oさん)



20年以上前、私が保育園児だった頃、Aちゃんは障がいがありおしゃべりが苦手で、よく人に噛みついたりする子で、私も噛まれたりしましたがそれでも、皆一緒に毎日なかよく過ごしていました。年長クラスのお別れ遠足でテーマパークに行き、帰りのバスでも元気で楽しそうにいましたが、その日の夜、Aちゃんは亡くなってしまいました。お葬式の記憶はあまり覚えていません。卒園式前に、みんなでAちゃんを忘れないように「Aちゃん文庫」を作り、家から絵本を持ち寄り、Aちゃんの似顔絵を描いて本棚に飾りました。時が過ぎ、中学で職場体験として再びその保育園へ。Aちゃん文庫がまだあったことが嬉しく、先生と思い出を振り返りました。いまちょうど30歳の私。Aちゃん文庫はきっといまも園のみんなの大切な空間になっていると信じています。(Oさん)



© 大田区

4 施設まつりの様子



© 大田区



大田福祉作業所



大森東福祉園



まごめ園



© 大田区



アミクス東糀谷



南六郷福祉園



© 大田区



さわやかワークセンター



OTAふれあいフェスタ



障害がい者総合サポートセンター



© 大田区



こども発達センターわかばの家

3 おおた みんなのつどいプロジェクト 総括イベント 令和7年12月6日(土) 大田区民プラザ

1 おおた みんなのつどいプロジェクトの取り組み紹介

イベント次第にプロジェクトの取り組みを記載して司会者からご説明しました。

おおた みんなのつどいプロジェクト

『おおた みんなのつどいプロジェクト』は、「障がいのある人もない人も、誰もがいきいきとした人生を送ることができる」共生社会の実現に向けて、区民の皆さまに障がいに対する関心と理解を深めていただく取り組みです。

施設まつり・OTAふれあいフェスタへの参加

障がい者施設で実施するお祭りやOTAふれあいフェスタに参加して、障がい理解のパンフレット等を専用トートバッグに入れて配布し、啓発活動を行います。各施設のお祭り等を巡るスタンプラリーも実施します。



大田福祉作業所



さわやかワークセンター



トートバッグ

プロジェクト表彰

障がいがある人もない人も笑顔になる、障がい理解を取り入れた実践的な地域活動を表彰します。

障がい理解のエピソード募集

「障がい理解の輪」から「笑顔の輪」に広がるような、まちで見かけたり、体験した、にっこりエピソードを募集して、区民の皆さまに紹介します。

総括イベント ～障がいのある人もない人も 笑顔あふれる社会へ～

共生社会の実現に向けて、「自立生活者」や「自立支援功労者」、
「障がい理解を取り入れた実践的な地域活動」の表彰式を行うとともに、障がいに対する関心や理解を深めるためにゲストをお招きして講演会やステージイベントを実施します。

2 表彰式

□ 大田区障害者関係区長表彰

総括イベントに合わせて、6名の方に表彰を行い、区長から表彰状が授与されました。

<自立生活者>

自立生活によく努められた3名の方

<自立支援功労者>

障がいのある方の自立支援活動に尽くされた3名の方

□ おおた みんなのつどいプロジェクト表彰

障がいのある人もない人も笑顔になる地域活動をされた6団体を表彰させていただきました。

総括イベント開会時にプロジェクト実行委員会会長から、表彰式では区長からご挨拶をいただきました。



大田区長
鈴木 晶雅



プロジェクト実行委員会
会長 閑製 久美子

□ おおた みんなのつどいプロジェクト表彰団体

- ・しゅわしゅわさわさわ
- ・千鳥北町会
- ・矢口北町会
- ・大森学園高等学校 ブラスバンド部
- ・障害者理解啓発グループおおた〜ツタエルチカラ〜
- ・稲毛屋鳥肉店

□ おおた みんなのつどいプロジェクト表彰式 集合写真



撮影:小山田 祐介



おめでとう
ございますぴょん!

© 大田区

3 ステージイベント

□ デフアスリート伊東勇哉選手による講演会

デフバドミントンの伊東勇哉選手をお招きして、司会者からインタビュー形式でお話を伺いました。ブラジルデフリンピックでの銀メダルにまつわるお話や、今回は怪我のため出場を見送ることになってしまった東京デフリンピックへの思い、次回のデフリンピックに向けた目標のほかに、ご自身の障がいへの受け止めやリフレッシュ方法などについてもお話いただきました。最後は、会場の皆様へのメッセージで締めくくりました。



プロフィール

伊東 勇哉(いとう ゆうや)選手

デフバドミントン

大田区在住

【所属】全日本空輸株式会社

中学からバドミントンを始め、現在は15年目。

「両耳全ろう」という重い障害があるが、フルタイムの仕事をしてながら、時間外の時間を使い練習やトレーニングに取り組んでいます。ブラジル2021デフリンピック(2022開催)では、混合団体戦で銀メダルを獲得しました!



□ よしもと手話ブ!によるステージイベント

「よしもと手話ブ!」の皆さんのミニライブでイベントを盛り上げていただきました。

手話を使ったショートコントは息もぴったりで、障がいのある人もない人も、会場全体が笑いに溢れました。



プロフィール

よしもと手話ブ!

手話ができる・手話に興味がある吉本芸人が集まって、ろう者も聴者も同時に笑えるお笑いライブを定期的に開催中!

デフリンピックを盛り上げるイベントにも参加しました。



□ よしもと手話ブ!・大根ちゃま・伊東選手によるステージイベント

ミニライブに引き続いて、よしもと手話ブ!の皆さんから手話クイズを出題いただきました。

大田区のご当地キャラ「大根ちゃま」と伊東選手も回答者として参加しましたが、会場の皆さんも一緒に考えていただき、楽しみながら障がい理解が深まるとともに、会場は笑顔に包まれました。

最後に「よしもと手話ブ!」の皆さんから、災害時に役立つ手話も教えていただくなど、盛りだくさんのステージイベントになりました。



プロフィール

大根ちゃま(だいこんちゃま)

7月13日生まれのご当地キャラクター

障がい者施設でのボランティア活動が評価され、令和5年度には、おた みんなのつどいプロジェクト表彰を受賞しています!



「おおむすび」 障がい者福祉施設の商品



「おおむすび」

このロゴマークには、「(お)大田区」の「(お)客様」に私たちの商品を「(お)気に入り」にさせていただき、末永くご愛顧いただきたいという想いを込めて、3つの(お)と縁起の良い水引の「結ぶ」をイメージして作成しております。

平成28年度に大田区内障がい者福祉施設の商品(自主生産品)販売促進を図る観点から、多摩美術大学の学生とのコラボにより誕生したロゴマークです。

「おおむすび」と読みます。「大田区」の頭文字「O」の丸い形状から「O→円→縁」と、人と人のつながりのきっかけになるようにとの願いが込められています。

現在では、区内障がい者福祉施設利用者の工賃(給料)向上・社会参加を促進する取組みを「おおむすび」と位置づけています。



障がい者福祉施設の商品(自主生産品等)を 販売しています!

障がい者福祉施設では、様々な商品(自主生産品及び大田区ゆかりの商品)を販売しています。

商品の販売収入から必要経費を引いた収益の全額が、利用者の方への工賃(給料)として支払われます。より多くの方から求められる商品を販売することで、利用者の工賃(給料)向上・社会参加を促進していきます。

利用者の手で一つ一つ丁寧に作られた商品や大田区ゆかりの商品を一度、手にお取りください。

商品の購入・販売に関するお問い合わせは、下記窓口にご連絡ください。

大田区生産活動支援施設連絡会(おおむすび連絡会)事務局
(大田区立志茂田福祉センター)

電話 : 03-3734-0763

FAX : 03-3734-0797





©大田区

はねじょん

障がい理解を深め
もつと笑顔に

おおた みんなのつどいプロジェクト



大田区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



© 大田区



© 大田区

令和8年2月

おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会

事務局

電話番号

ファクシミリ

大田区福祉部障害福祉課(障害事業)

03-5744-1251

03-5744-1555



© 大田区